

問 八百津高校付近の複雑な交差点は、以前より道路自体は改良されたが、その交差点の形状により危険な箇所となっている。今後、この交差点の改良をされるのかどうかお考えを伺いたい。

答 (渡辺防災安全室長) 塩口の交差点については、県公安委員会と協議しております。複雑な交差点の道路改良については、今後、建設課とも協議しながら要望していきたいと考えています。



伊岐津志・塩口地内交差点

Q2 木野浄水場河川上流の状況について

河川の状況は？

問 木野浄水場の上流では、河床に土砂がたまり積り、降雨時には水があふれている。この水は飲み水として利用されており、安全性が危惧されるが、その対策について伺う。

答 (山田建設課長) 八百津町では、平成22年、23年の2年連続で130年に一度という未曾有の豪雨に見舞われ、甚大な被害を受けました。ご質問の荒川におきましても木野浄水場から上流は護岸の崩壊や、農地の洗掘、河道内の土砂のたい積等大きな被害を受けました。その後岐阜県と八百津町において公共土木施設災害復旧事業を行い、護岸はコンクリートブロック積み等で復旧し、河道内のたい積土砂は撤去いたしました。現在、木野浄水場から五宝の滝公園付近までの護岸施設は健全な状態であり、土砂等のたい積もなく河川の状況は良好に保たれております。しかし、五宝の滝公園より上流部は山林地帯の中を河川が流れている状況でありまして、もともと石積みやブロック積みといった既存の護岸施設はない状態でしたので、災害復旧工事が行っておりませんが、今後、土砂や倒木等により河道を阻害しているような箇所があれば撤去するなどして、河川を良好な状態に保ち、洪水被害を防止するように努めてまいりたいと考えております。なお、現在の状態で、木野浄水場の取水への影響は無いものと思っております。

問 最近、新聞の中濃版で、八百津町の記事が掲載されることが少ないように思う。どうしたら多くの記事を載せることができるのだろうか。町民の方々は、それを待つてみえるので、よろしく願います。

答 (青山総務課長) 現在のマスコミへの対応について、お答えいたします。八百津町で行われる行事・イベントはもちろんのこと、八百津町に関連するものや地域のニュースなどで、総務課情報政策係で把握できるものについては、担当係からメールにより「美濃加茂記者クラブ」へ情報を提供していただきます。また、事前に知らせておく必要があるものについては、前もってお知らせいたします。

「美濃加茂記者クラブ」のメンバーは、朝日・岐阜・中日・毎日・読売・中部経済の各新聞社と共同通信社、NHK放送局の8社で構成されており、メールはこの8社にすべて一斉に送られます。特に、学校などでは、直接新聞社などに積極的に情報を流しているところもあり、八百津町のPRに大きく貢献しているものと考えています。この地方で多く購読されているのは岐阜新聞と中日新聞ですが、今年に入って1・2月ではイメージキャラクター「やおっち」の紹介記事を始め、岐阜新聞では9件、中日新聞では13件ほどの記事が掲載されております。また、3月に入ってから8日土曜日までの8日間、特に中日新聞では八百津町関連も含め8件ほどの記事が掲載されています。なかなか大見出しの記事は少ないですし、関市、郡上市、美濃加茂市などの市と同じような訳にはいきませんが、紙面の関係があるにもかかわらず、八百津町については他町村と比べても多く掲載されているのではないかと思います。今後とも八百津町の活性化につながるよう、町としても様々な情報を提供し、PRしていきたいと考えています。議員各位におかれましても、住民の方々に積極的に呼びかけていただき、地域の問題などの掘り起こしに努めていただければありがたいと考えていますので、よろしくお願いたします。

黒岩千泰 議員

Q1 八百津町の活性化について

マスコミへの対応は？

問 最近、新聞の中濃版で、八百津町の記事が掲載されることが少ないように思う。どうしたら多くの記事を載せることができるのだろうか。町民の方々は、それを待つてみえるので、よろしく願います。

答 (青山総務課長) 現在のマスコミへの対応について、お答えいたします。八百津町で行われる行事・イベントはもちろんのこと、八百津町に関連するものや地域のニュースなどで、総務課情報政策係で把握できるものについては、担当係からメールにより「美濃加茂記者クラブ」へ情報を提供していただきます。また、事前に知らせておく必要があるものについては、前もってお知らせいたします。

問 八百津町の観光協会について、20年から30年先を見据えた、今後のビジョンをお聞かせいただきたい。

答 (田口産業課長) 八百津町では、平成9年度に策定した可茂広域観光振興計画において「水と緑と文化の調和した町・やおっち」を掲げ、主要な観光名所である「丸山ダム」「蘇水峡」「めい想の森」「五宝滝」などの再整備を進めてきました。そして、「人道の丘公園」「杉原千畝記念館」を新たな観光名所として整備し、現在、八百津町は平和を世界に訴える町として国内外から観光客が訪れるようになってきました。また今後、交通網の拡充に伴い、ヒト・モノの動きがさらにスムーズになり、八百津町が新たな観光・産業・流通の拠点となることも予想されます。そこで、平成25年度において懸案でありました「八百津町観光振興計画」を策定し、すべての観光客に「八百津をまた訪れたい」と思われる魅力に満ちた観光施策を推進することになりました。

さらに、平成19年度から活動を休止しておりました「八百津町観光協会」を再生し、新生八百津町観光協会として再出発をするため、町内の各種団体から委員を選出し、「八百津町観光協会活性化委員会」を立ち上げ、観光振興計画や観光協会の再生に向けて検討しているところで